

課題番号：処-203

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「処分概念」 課題「処分概念の構築」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				1,2
		(参考) 関連する研究課題					
1	処分概念を高度化したい	●事故廃棄物の処分の信頼性、安全性を高めるために、既存の廃棄物と異なる特徴をもった事故廃棄物に対する処分概念の確立、高度化が望まれる。	【実施されている研究課題】				
			特になし				
		【検討されている研究課題】					
		課題リスト「セメント系材料によるウラン化学種閉じ込め効果を考慮した人工バリアの設計」					
2	処分方策を検討したい	●事故廃棄物の処分に対し、多様なステークホルダーの要望、懸念、廃棄物の特性等を踏まえ、合理的で安全な処分方法の確立が望まれる。 ●事故廃棄物の処分に対し、既存の処分方策、処分概念の適用可能性を確認する手法が望まれる。また、適用に問題がある場合、新たな処分方策、処分概念を構築する手法が望まれる。 ●現状では適用できる法制度がないため、事故廃棄物の処分に適用できる法制度の確立が望まれる。	【実施されている研究課題】				
			H28年度英知「汚染水処理で発生する合成ゼオライトとチタン酸塩のセメント固化体の核種封じ込め性能の理解とモデル化およびその処分システムの提案」				
			H31年度英知「高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化」				
			H31年度英知「燃料デブリ取出しに伴い発生する廃棄物のフッ化技術を用いた分別方法の研究開発」				
		廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発（保管管理、処理・処分概念の構築と安全評価手法の開発、性状把握の効率化、研究開発成果の統合）」					
		【検討されている研究課題】					
		特になし					
関連する課題		処-101「性状把握」 処-102「廃棄物戦略」 処-201「減容化手法」 処-202「廃棄体化手法」 処-204「性能評価」 処-302「処分概念に応じた処分技術」 共-6「リスク評価」					